

## 131 点の存在範囲

$\triangle OAB$  に対して、 $\overrightarrow{OP} = s\overrightarrow{OA} + t\overrightarrow{OB}$  (ただし、 $s, t$  は実数) とする。 $s, t$  が  $s+t \leq 2, s \geq 0, t \geq 0$  を満たすとき、点  $P$  の存在範囲の面積は  $\triangle OAB$  の面積の  $\boxed{\text{ア}}$  倍である。

## 132 交点の位置ベクトル

$\triangle OAB$  があり、辺  $OA$  を  $2:1$  に内分する点を  $M$ 、辺  $OB$  を  $1:3$  に内分する点を  $N$  とし、線分  $AN$  と線分  $BM$  の交点を  $P$  とする。このとき、 $\overrightarrow{OP}$  を  $\overrightarrow{OA}, \overrightarrow{OB}$  を用いて表すと、

$$\overrightarrow{OP} = \frac{\boxed{\text{ア}}}{\boxed{\text{イ}}} \overrightarrow{OA} + \frac{\boxed{\text{ウ}}}{\boxed{\text{エオ}}} \overrightarrow{OB} \text{ である。}$$

## 133 等式を満たす点の位置

$\triangle ABC$  と点  $P$  があり、等式  $3\overrightarrow{PA} + 4\overrightarrow{PB} + 5\overrightarrow{PC} = \vec{0}$  が成り立っているとき、

$$\overrightarrow{AP} = \frac{\boxed{\text{ア}} \overrightarrow{AB} + \boxed{\text{イ}} \overrightarrow{AC}}{\boxed{\text{ウエ}}} \text{ であり、} \triangle ABC = \boxed{\text{オ}} \triangle PBC \text{ である。}$$

## 134 球面の方程式

点  $(3, 1, -2)$  を中心として、点  $(1, 3, 2)$  を通る球面の方程式は

$$(x - \boxed{\text{ア}})^2 + (y - \boxed{\text{イ}})^2 + (z + \boxed{\text{ウ}})^2 = \boxed{\text{エオ}}$$

である。また、この球面と  $xy$  平面が交わってできる円の半径は  $\boxed{\text{カ}}\sqrt{\boxed{\text{キ}}}$  である。

## 135 空間ベクトルの垂直と内積

$\vec{a} = (1, -2, -1), \vec{b} = (2, -1, 0)$  の両方に垂直で、大きさが  $\sqrt{14}$  のベクトルを  $\vec{p}$  とすると、

$$\vec{p} = (\boxed{\text{ア}}, \boxed{\text{イ}}, \boxed{\text{ウエ}}), (\boxed{\text{オカ}}, \boxed{\text{キク}}, \boxed{\text{ケ}}) \text{ である。}$$

## 136 4 点が同一平面上にある条件

4 点  $A(4, -2, 0), B(6, 1, 0), C(1, -1, -1), D(x, 1-x, -1)$  が同一平面上にあるとき、

$$x = \frac{\boxed{\text{ア}}}{\boxed{\text{イ}}} \text{ である。}$$